

提出日：2014年7月11日

KY14-08 クルーズサマリー

1. 航海情報

1.1. 航海番号

KY14-08

1.2. 船舶名

海洋調査船「かいよう」

1.3. 航海名称

津波監視ブイの回収

1.4. 首席研究者

福田 達也 [(独) 海洋研究開発機構 海洋工学センター]

1.5. 課題代表研究者

福田 達也 [(独) 海洋研究開発機構 海洋工学センター]

1.6. 研究課題名

津波監視ブイおよび地殻変動計測システムの開発

1.7. 航海期間

2014年6月14日から2014年6月17日

1.8. 出港地、寄港地および帰港地

横須賀港（日本）出港：2014年6月14日

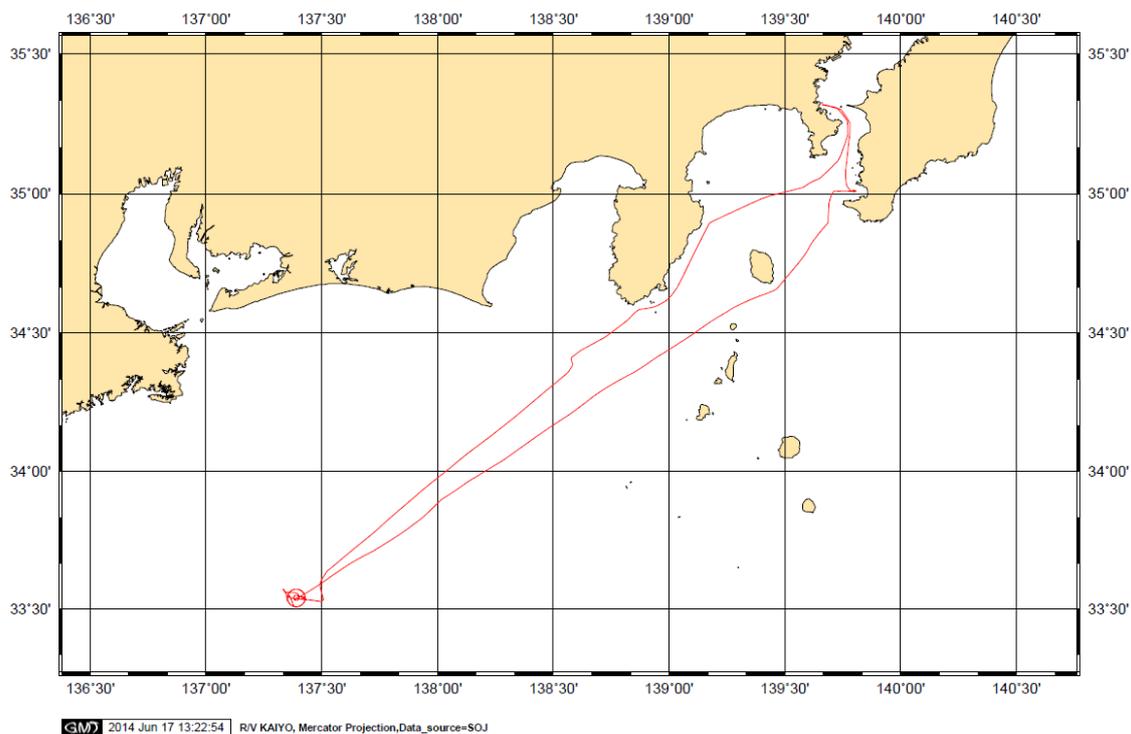
横須賀港（日本）入港：2014年6月17日

1.9. 調査海域名

熊野灘

1.10. クルーズトラック

KY14-08_Nav Track



2. 実施内容

2.1. 目的

YK14-01 航海（2014 年 1 月）で熊野灘に設置した津波ブイ試作 2 号基および海底局の回収を目的とする。

2.2. 調査概要

2.2.1. 津波監視ブイ試作基の回収

1 測点（熊野灘）における、ブイ及び海底局の回収を実施した。

(1) 回収ブイ

① 津波監視ブイ試作基

設置日時(UTC)	2014 年 1 月 12 日 02:49
回収日時(UTC)	2014 年 6 月 15 日 04:22
設置位置	北緯 33 度 32.33 分, 東経 137 度 23.24 分
水深	2,972 m

② 津波監視ブイ用海底局

設置日時(UTC)	2014 年 1 月 12 日 07:25
回収日時(UTC)	2014 年 6 月 16 日 02:20
設置位置	北緯 33 度 32.43 分, 東経 137 度 23.41 分
水深	2,973 m

2.2.2. 音響波形観測 及びワイヤロープ通信試験

津波監視ブイ試作基の回収前及び回収後において、船底の受波器を使用して海底局から発信される音響信号波形の観測を実施した。ブイ回収前は、ブイ近傍にて観測し、ブイ回収後は海底局設置点を中心として 1 測線実施した。その後、回収したワイヤロープと吊下局を使用し吊下局の深度を 5m、10m、20m、30m、990m で観測した。その際、ワイヤロープ通信の正常性確認を実施した。

・ 測点 1 ブイ近傍

・ 測線 1 円 半径 3.55km 中心 33-32.43N、137-23.41E

・ 範囲 1 半径 3.0km~3.9km の間 中心 33-32.43N、137-23.41E

計 3 観測。